

医薬品適用学領域		選 択	春学期	1 単位
担当研究分野	分子薬剤学、製剤設計学、薬品物理化学、薬品分析化学			
到達目標・目的	医薬品は最終的に製剤として適用される。製剤化によって多様な機能や利点が付与される。医薬品の品質や製剤としての機能を明らかにするため、物理化学、分析化学、薬剤学を基礎とした方法や技術、知識を修得する。医薬品の物理化学、その数学的取扱いについて修得する。品質確保や有効性・安全性評価のための分析化学の基礎及び実践について修得する。さらに、薬物治療の最適化を目的とした技術や方法論を修得する。薬物送達法を含めた適用法や剤形の研究開発、展開について学び、医薬品についての理解を深める。			
受講心得・準備学習等	講義に積極的に参加し、課題については予め調査し、自分の見解を述べるようにすること。			
事後学習・復習等	各研究分野における物事の捉え方を学び、自分自身の研究との関連性について考察すること。			

授業の方法と各回の内容

授業の方法		講義			
実施日	時間	実施方法	研究分野	担当者	内 容
5/1 (金) (6/30 (火)	75 分	オンデマンド	分子薬剤学	服部	核酸医薬品を用いた治療の原理・方法および具体例
	75 分	オンデマンド	分子薬剤学	川野	抗がん薬の DDS 製剤
	75 分	オンデマンド	分子薬剤学	清水	RNA 治療薬における DDS 研究の動向
	75 分	オンデマンド	製剤設計学	小幡	経皮吸収型製剤の基礎と応用
	75 分	オンデマンド	製剤設計学	小幡	製剤設計に寄与する製剤技術
	75 分	オンデマンド	製剤設計学	小幡	皮膚成分、皮膚疾患と製剤開発
	75 分	オンデマンド	薬品物理化学	大貫	実験計画法を利用した製剤設計法
	75 分	オンデマンド	薬品物理化学	山下	計算機を用いた医薬品研究
	75 分	オンデマンド	薬品物理化学	井上（元）	医薬品の物理化学特性
5/22 (金)	75 分 10:45～	Zoom	薬品分析化学	穠山	食品安全分野の分析法の動向
5/29 (金)	75 分 10:45～	Zoom	薬品分析化学	岩崎	質量分析計を用いた生体試料分析法
6/5 (金)	75 分 10:45～	Zoom	薬品分析化学	伊藤	カビ毒分析とリスク評価

成績評価の方法	それぞれの研究分野において講義受講態度を評価するが、必要に応じてレポートを課す。各研究分野からの評価を総合し、判定する。
成績評価の基準	講義受講態度、課題に対するレポート等を総合的に評価する。
教科書	なし（必要な資料を配付する。）
参考書など	
その他	